

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—どう帆を張っていきましょうか—

NO. 57



2月に入り、そろそろ春からの生活の場が定まってきたと思います。なんとなくですが、4月からの新たな一週間はイメージしやすくなってきました。始まっていない先のことを考えるのって、期待も不安も入り交じり、キリがないですが…。そして今は何をすればよいでしょう？新しい船出を前に、どう帆を張っていけばよいでしょうか？

まずは、子どもの今の姿の確認です。どういう道を歩んできたかの軌跡（成長）と、身につけてきた力、過ごしてきた環境を振り返り整理してみましょう。早すぎもせず遅すぎもしない、2月が時期としてはピッタリです。幼稚園や保育所、学校や学童保育室、訓練先やあんずのような事業所の支援者と、冬、秋、夏、春と、さかのぼってみてください。結構昔に思えるのは、日々が充実していた証です。事実ですから、その手応えは確かなものです。明日への自信にしていきましょう。

そして、この2月3月、どういう気持ちで過ごしていけばよいかです。子どもの今日を見ていくとき、「今、どうしていくのが良いのかな？」を、次の3つで整理してみるとよいと思います。

① ここで一歩進めていこう！

ひとつ上を目指してのチャレンジです。昇っていくためには、蹴り上げる地面がしっかりしていなければ力が入りません。一日の生活を、いつものようにいつもの通りに過ごすこと、好きな遊びを十分に楽しむことが力を蓄えます。そして、手を伸ばす目標は遠くに置かずに、少し背伸びするくらいのところに。それをいくつも作っていきます（スモールステップで）。大事なことは子ども自身がその気になっているかどうかです。子どもの背中を押すのではなく、自分から踏み出せるように背中に手をあてて支えてあげてください。そして「今だ！」のタイミングをじっくり待って、一歩踏み出した時に見届ける手であるように。

② 今は横に広げていこう！

身につけたスキルや興味関心を、同じような場面に広げ、同じ味のメニューを増やしていきます。相手を替えてみたり、場所を変えてみたり、道具を新調したり、量を増やしてみたり。無理なく幅を広げていくことで、遊びも生活も安定し、先々、上に昇りやすくなります。高い山ほど、すそ野が広いですからね。伸び悩みではなく停滞でもなく、大事な横への成長を促していきます。

③ 身につけた力をひたすら磨いていこう！

身に付けた力やスキルを存分に使う時間を作っていきます。同じことを何度も何度も繰り返し、飽きるまで楽しんでもらいます。この時間（期間）はとても大切です。靴は履きなれてこそ足に馴染みます。遠出をする前には必要な時間です。楽しさ面白さは、自然と興味関心を広げていきます。

我が子の今はどうでしょうか？どの方針が妥当でしょうか？。とはいえ、上の①②③のどの方針で過ごしても、どの子も確実に成長していきます。でも、器用に歩いていくのは、あまり得意ではないですね。なので、進む道を少し歩きやすくするために、キョロキョロしすぎてバランスを崩さないように、帆の張り方を決めておくと、気持ちよく風を味方につけていけると思います。

迷いがあるときは、子どもの顔を見て、そして相談してください。（R3.2）K

